

# 広島県ジュニア体操競技選手権大会

## クラスⅠ 男子 適用規則（2019年度版）

- I 体操競技の本質に照準をあてながら、将来に繋がるジュニア期の選手という点を十分に考慮し、常に「美を競う」という観点で採点する。また、演技が美しくのびのびと正しく行われているか、その演技実施の習熟度を評価する。
- さらに、演技の良い部分に対しては、積極的に加点する。
- ・「姿勢の美しさ」
  - ・「動きの美しさ」
  - ・「技の正確性」
- II 安全性に対する注意は常に十分になされなければならない。
- ・演技内容は選手の能力に相応していなければならない。
  - ・演技は理にかなったやり方で、美しくのびのびと実施されなければならない。
  - ・選手は、技術的に不完全で安全が保障されない技を無理に行ってはいけない。

### 自由演技の採点

#### 1 原則

1. 演技種目は、ゆか、円馬、跳馬、鉄棒の4種目で行う。
2. 次に示すもの以外は、(公財)日本体操協会制定 2018 年度版全国ブロック選抜 U-12 体操競技選手権大会男子適用規則を適用する。  
※(器械器具についても含む)

#### 2 円馬

1. 本大会ではあん馬を実施せず、円馬の競技を行う。
2. 決定点の構成  
演技構成【Dスコア：巡回1周で0.3×巡回の数（ただし最大10周）】  
+実施【Eスコア：10.00－減点】+加点【最大0.50】（ただしEスコアの上限は10.00）  
－N D【ニュートラル・ディダクション：技数不足等】  
決 定 点

#### 3. 演技構成、実施

- (1) 閉脚の両足巡回10周で行う。10周の定義は以下の通り

解説文(左巡回：反時計回りにて解説)

- ・円馬正面立ち。
- ・両足右入れ、両足左抜き正面支持。(1周)
- ・両足巡回8回、正面支持。(8周)
- ・両足右入れ、両足左抜き下り。(1周) 計10周

(閉脚巡回を主体として開脚巡回などを行った場合でも減点はしない)

- (2) Dスコアは巡回1周につき+0.3する。よって、Dスコアの最大は3.0となる。

- (3) 10周を超えたことに対する減点はしない。ただし、10周を超えた巡回も実施減点の対象となる。

#### 4. ND (ニュートラル・ディダクション)

巡回が10周に満たない演技については、決定点から1周につき－1.00の減点を行う。

#### 補足

鉄棒においてマットを重ねることによって高さを調整することを認める。  
マットを重ねることに対する減点はしない。

## 広島県ジュニア体操競技選手権大会 クラスII 男子 適用規則（2019年度版）

- I 体操競技の本質である「美を競う」という観点を基本方針とする。
  - ・「美しい体操を身につける」
  - ・「基本的な技の習熟を図る」
- II 安全性に対する注意は常に十分になされなければならない。
  - ・選手は、技術的に不完全で安全が保障されない技を無理に行ってはいけない。

### 自由演技の採点

（公財）日本体操協会 2017 年制定・2018 年中学校男子適用規則(U-15)を適用する。

※(器械器具についても含む)

### 補足

事故防止と選手の精神的援助の為、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において2名までの補助者が立つことが許される。

## 広島県ジュニア体操競技選手権大会 クラスIII 男子 適用規則（2019年度版）

- I 体操競技の本質である「美を競う」という観点を基本方針とする。
  - ・「美しい体操を身につける」
  - ・「基本的な技の習熟を図る」
- II 安全性に対する注意は常に十分になされなければならない。
  - ・選手は、技術的に不完全で安全が保障されない技を無理に行ってはいけない。

### 自由演技の採点

☆ 「平成 29 年度版高等学校男子適用規則（2017 年版採点規則）」を適用する。

※(器械器具についても含む)